

SRC 自主調査の調査結果について

コロナ禍における働く意識の変化に関する基礎調査シリーズ(全6レポート)
「②転職時のきっかけや経緯、転職により悩みが解決されたか」

転職のきっかけ、転職活動時期・行動、転職による待遇の変化や悩みの解決状況

- 株式会社サーベイリサーチセンターは、コロナ禍での働く意識の変化について、「①リスクリング・リカレント教育・教育研修の実施状況・参加意向」、「②転職時のきっかけや経緯、転職により悩みが解決されたか」、「③社内で尊敬できる・影響を受ける人の特性と何に影響を受けるか」、「④企業内の感染症対策実施状況」を重点テーマとし、インターネットリサーチパネルを用いて調査を実施いたしました。
- 上記の重点テーマ以外に、「⑤業種別・規模別・職位別・年次別・転職経験別の額面年収の状況」、「⑥業種別の働くマインド傾向」についてとりまとめを行っています。
- 本プレスリリースでは、上記のうち、「②転職時のきっかけや経緯、転職により悩みが解決されたか」についての内容となっています。
- 調査実施時期は2022年11月で、調査対象は「メーカー」、「IT・通信系」、「流通小売」、「サービス業」、「医療」、「公務」の正社員・正規職員の20-59歳としています。

調査結果のポイント

1. 転職経験【p.3~5】

- ✓ 全体の転職経験率は**65.2%**
- ✓ 業種別では、「流通小売」や「医療」は転職経験者の割合が高く、転職回数も多い。
- ✓ 職種別では、「専門・技術・生産」や「販売・サービス」の転職経験者の割合が高い。
- ✓ 企業規模別では、規模が小さいほど転職者の比率が高くなっている。

2. 転職による業種・職種の変更【p.6~7】

- ✓ 転職前後で業種を変えた人の割合が高いのは「公務」51.7%や「流通小売」44.2%
- ✓ 「医療」や「IT・通信系」は業種を変えない人の割合が高い。
- ✓ 転職前後で職種を変えた人の割合が高いのは「管理職・経営」48.2%や「間接」38.2%
- ✓ 「専門・技術・生産」や「SE」、「販売・サービス」、「事務・営業・企画」は業種を変えない人の割合が高い。

3. 転職による処遇・待遇の変化【p.8~9】

- ✓ 転職によって、前職の職位よりも「上位の職位」に就いた割合は**16.7%**、「同等の職位」が70.2%、「下位の職位」が**10.8%**となっている。
- ✓ 転職によって、前職の年収(額面)に比べ「年収アップ」となる割合は**23.8%**、「年収キープ」が59.5%、「年収ダウン」が**11.5%**となっている。

4. 転職経験者は職場に満足しているか【p.10】

- ✓ 転職経験の有無別に、現在の職場の総合的な満足度を比較すると、転職の「経験あり」の方が、「経験なし」に比べて高い傾向がみられた。
- ✓ 転職経験がない方が満足度が高いのは年代では「40代」、業種では「医療」、職種では「販売・サービス」となっている。

5. 転職の動機と、転職によりその原因が解消されるか【p.11~12】

- ✓ 転職のきっかけの回答割合が高いのは「会社の先行きに不安を感じた」で10.3%、次いで「上司と合わない・関係が悪くなった」が7.4%となっている。
- ✓ 「一番初めのきっかけ」で選択した項目が「解決したかどうかについてみると、「興味・関心のある仕事に就けた」や「個人・家庭の事情に合った働く場所に就けた」などの解決率が高くなっている。
- ✓ 「出世・昇格が期待できるようになった」、「同僚との関係が良好になった(今のところ)」、「生活するのに十分な給与水準となった」などは、解決した比率が4割以下となっており、改善しない割合が高くなっている。

6. 転職のプロセス・タイミング【p.13】

- ✓ 転職活動中に行ったアクションの回答割合が最も高かったのは「前職の上司に報告」で65.8%、「前職の上司・同僚・同期社員に相談」が63.7%等となっている。
- ✓ 実施時期についてみると、エージェントへの登録や社外の知人への相談は3ヶ月以上前、3ヶ月前頃に決意し、転職活動を本格化、2.5ヶ月前に内定し、人事、上司の順で報告・相談を行い、1.5ヶ月前に退職願を提出している。

0. 調査概要

コロナ禍における働く意識の変化に関する基礎調査シリーズ概要

- 【公開済】①教育研修の実施状況・参加意向
【今回】②転職時のきっかけや経緯、転職により悩みが解決されたか
【準備中】③社内で尊敬できる・影響を受ける人の特性と何に影響を受けるか
【準備中】④企業内の感染症対策実施状況
【準備中】⑤業種別・規模別・職位別・年次別・転職経験別の額面年収の状況
【準備中】⑥業種別の働くマインド傾向

調査概要

調査方法	インターネット調査パネルによるWEB調査
調査対象者	以下の業種の企業・団体に正社員として従事する20～59歳の有業者 「メーカー」、「IT・通信系」、「流通小売」、「サービス業」、「医療」、「公務」
サンプルサイズ	2,400件
利用パネル	GMOリサーチ ジャパンクラウドパネル
設問数	29問
割付	400件×6業種(うち各業種転職経験者100件)
調査実施期間	2022年11月9日(水)～11月14日(月)

調査項目 ※本プレスリリースに該当する箇所に網掛け ※他の項目は別途公表します。

	調査項目
個人属性①	性別／年代／雇用形態／業種／従業員規模／転職経験／転職時期／前職雇用形態／前職業種
個人属性②	職種／職位／勤務年数／額面給与年収／同居家族／最終学歴
満足度	総合満足度／職場の雰囲気／人事・福利厚生制度／経営方針や戦略／上司／仕事内容／仕事量
働く意識	働く意識／会社に対する意識
新型コロナウイルス関連	勤務先の新型コロナウイルス感染症対策／コロナ禍での働く意識
推奨度	現在の勤務先の推奨度(eNPS)
尊敬する人	影響を受ける人／影響を受ける内容／影響を受ける人の特性／エピソード
リカレント教育実施状況	リカレント教育実施状況／従業員の研修・スキルアップの支援実施状況／研修・スキルアップの支援の参加意向
転職経験	転職したきっかけ／転職により悩みが解決されたか／退職までの行動の経緯／転職活動時に接触したメディア・コンサルタント等

回答者の構成

	総計	性別		年代			
		男性	女性	20代	30代	40代	50代
全体	2400	1633	767	600	600	600	600
メーカー	400	308	92	100	100	100	100
IT・通信系	400	326	74	100	100	100	100
流通小売	400	265	135	100	100	100	100
サービス業	400	246	154	100	100	100	100
医療	400	191	209	100	100	100	100
公務	400	297	103	100	100	100	100

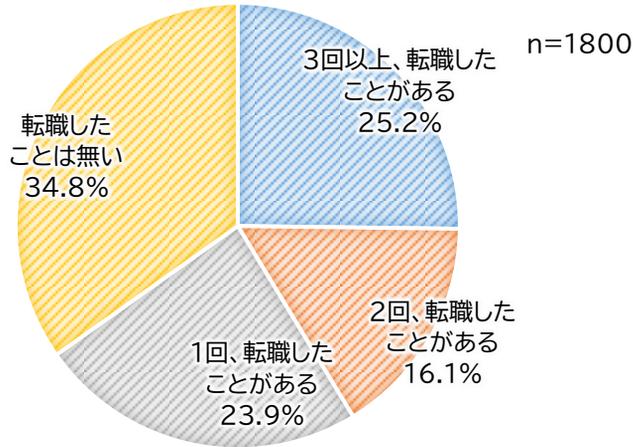
1. 転職経験

転職経験

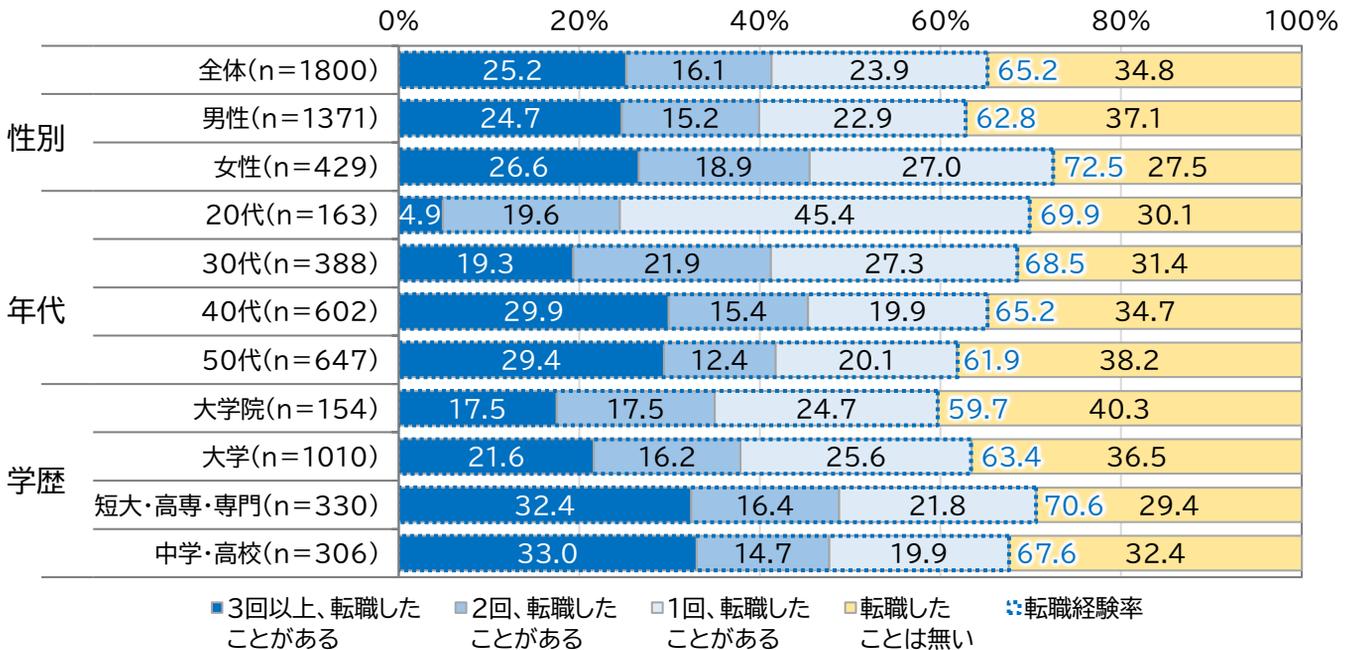
- 全体の転職経験率は65.2%となっており、概ね3人に2人は転職経験があった。
- 「3回以上」が25.2%、「2回」が16.1%、「1回」が23.9%となっている。
- 転職の回数は年齢が高い方が高いが、転職経験率は若年層の方が高くなっている。

SC6 転職のご経験をお聞かせください。(SA)※正社員での勤務経験

転職経験の有無



個人属性別 転職経験の有無



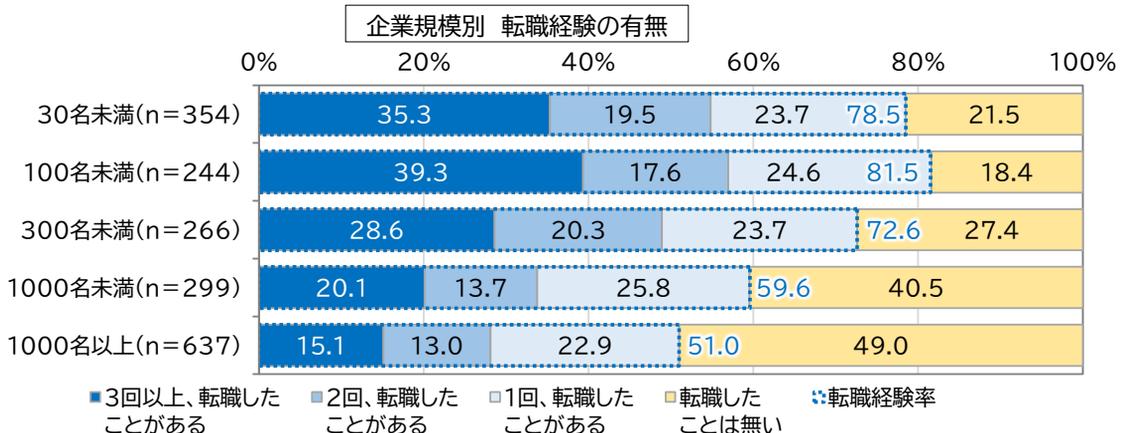
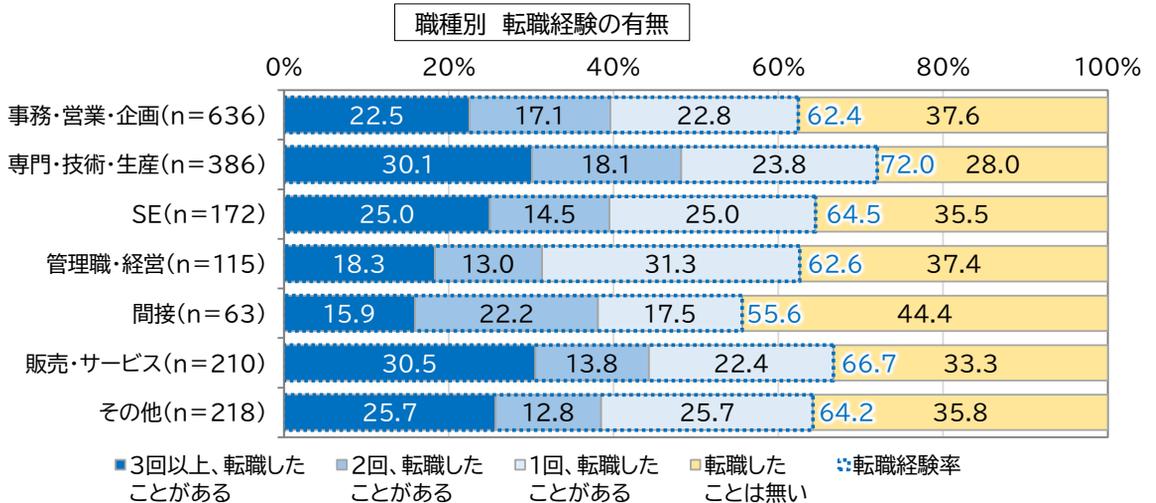
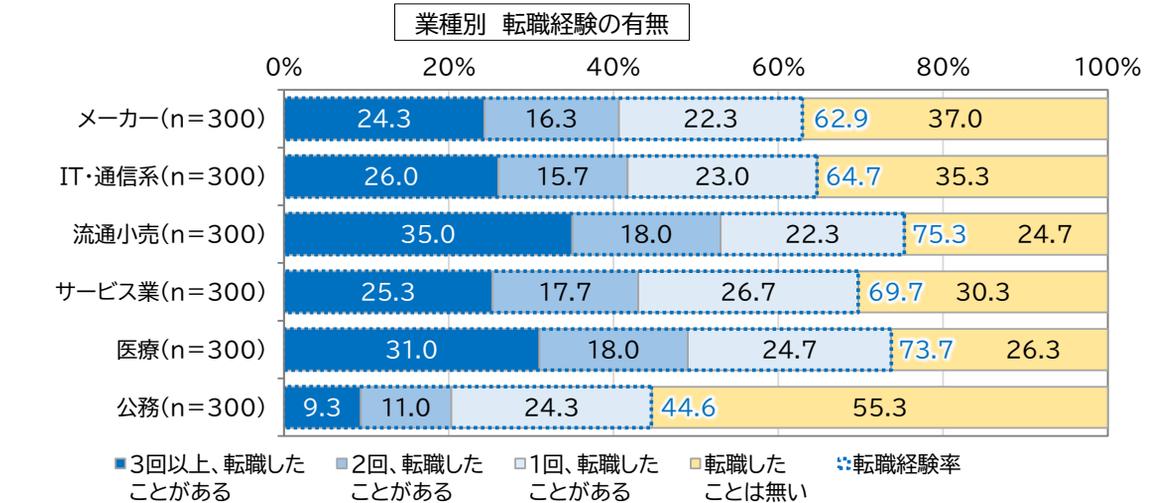
※ 本調査の回収数は全体で2400ss、うち600ss(各業種100ss)の転職経験者を優先回収し、その後、1800ss(各業種300ss)を転職の有無にかかわらず、自然出現にて回収した。上図は自然出現分の1800ssを元に作図している。

1. 転職経験

転職経験

- 業種別では、「流通小売」や「医療」は転職経験者の割合が高く、転職回数も多い傾向があった。
- 職種別では、「専門・技術・生産」や「販売・サービス」の転職経験者の割合が高い。
- 企業規模別では、規模が小さいほど転職者の比率が高くなっている。

SC6 転職のご経験をお聞かせください。(SA)※正社員での勤務経験

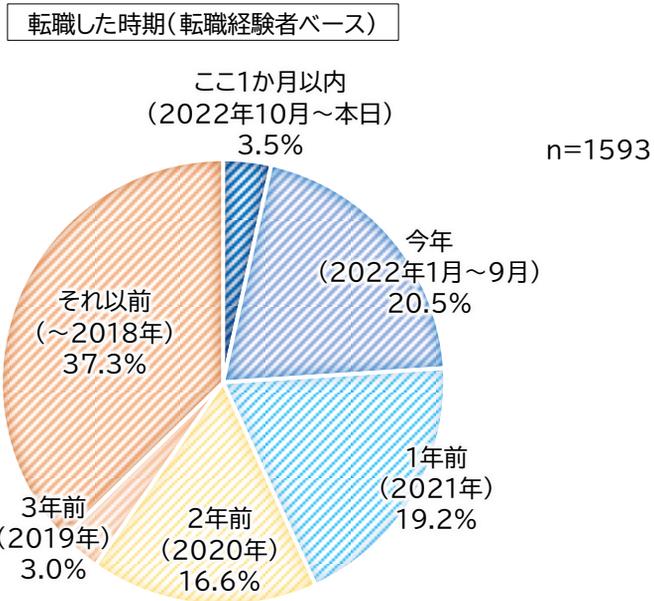


1. 転職経験

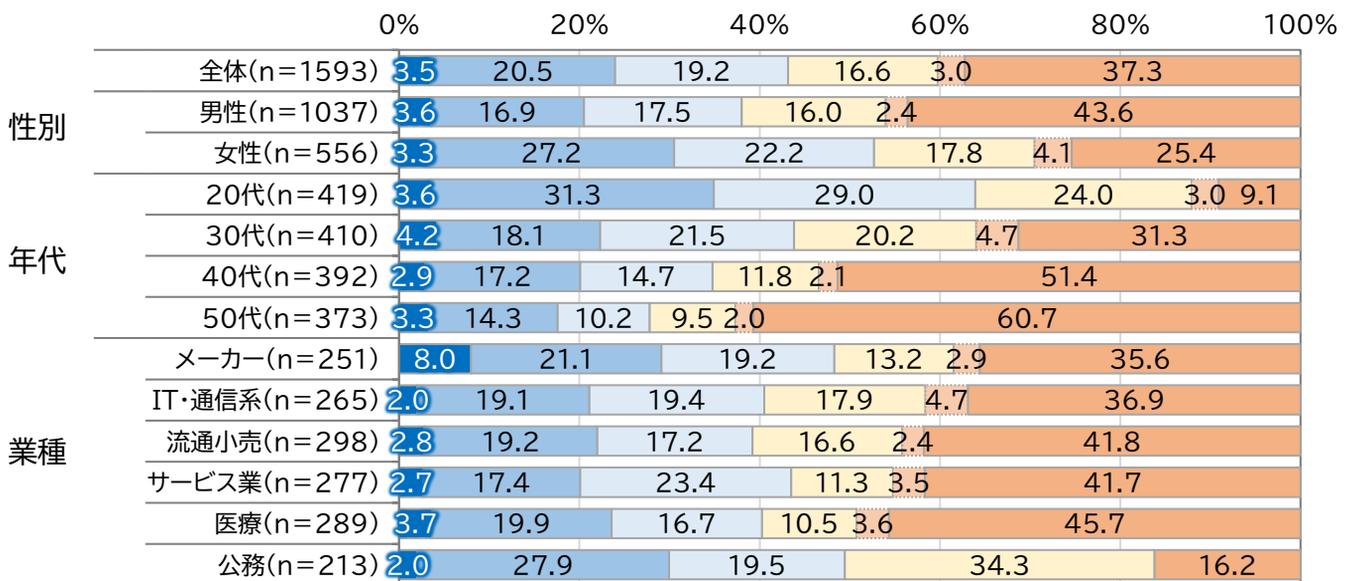
直近の転職した時期

- 転職経験者の、直近の転職の時期は、「直近1ヶ月以内」が3.5%、「今年(2022年)」が20.5%、「1年前(2021年)」が19.2%となっている。
- 「メーカー」や「公務」は、2022年の転職者比率がやや高くなっている。

SC7 直近の転職は、いつ頃されましたか。(SA)※現在の会社・団体での勤務開始日



個人属性・業種別 転職した時期(転職経験者ベース)



■ここ1か月以内 (2022年10月~本日) ■今年 (2022年1月~9月) □1年前 (2021年) □2年前 (2020年) ■3年前 (2019年) ■それ以前 (~2018年)

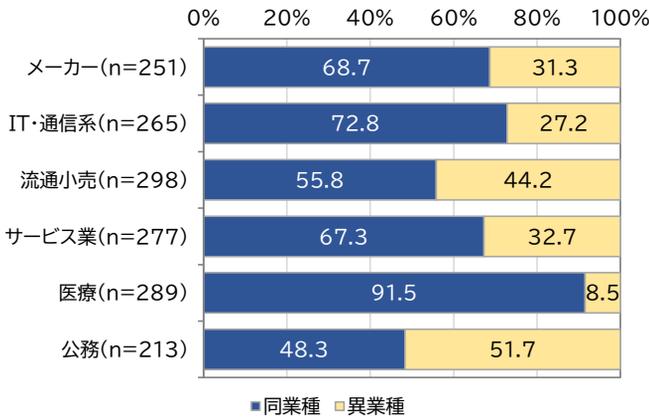
2. 転職による業種・職種の変更

転職による業種の変化

- 転職前後で業種を変えた人の割合が高いのは「公務」51.7%や「流通小売」44.2%となっている。
- 一方で、「医療」や「IT・通信系」は業種を変えない人の割合が高い。

SC9 前職でお勤めだった会社・団体の業種をお答えください。(SA)※複数あてはまる場合は、主たる事業

現在の業種と前職の業種の違い



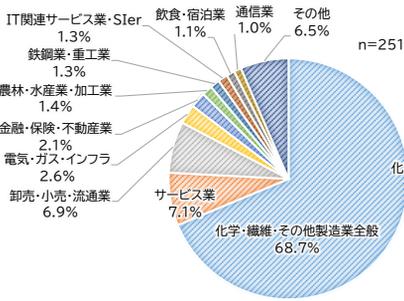
参考: 本調査での区分

日本産業分類

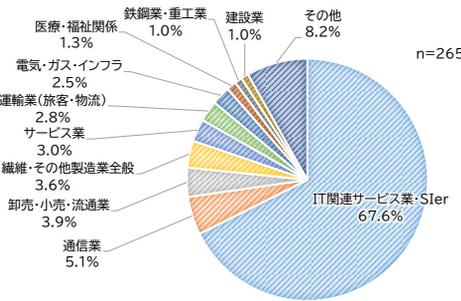
本調査の区分

- 農林・水産業・加工業
- 鉄鋼業・重工業
- 建設業
- 化学・繊維・その他製造業全般 — **メーカー**
- 電気・ガス・インフラ
- 運輸業(旅客・物流)
- IT関連サービス業・Sier — **IT・通信系**
- 通信業
- 市場調査・コンサルティング業
- 卸売・小売・流通業 — **流通小売**
- 飲食・宿泊業
- 金融・保険・不動産業
- サービス業 — **サービス業**
- 医療・福祉関係 — **医療**
- 教育、学習支援業
- 公務 — **公務**
- 社団法人・業界団体
- その他

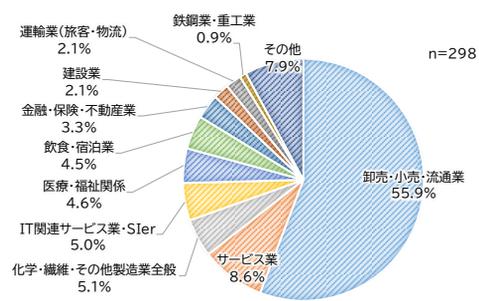
前職の業種(現 メーカー)



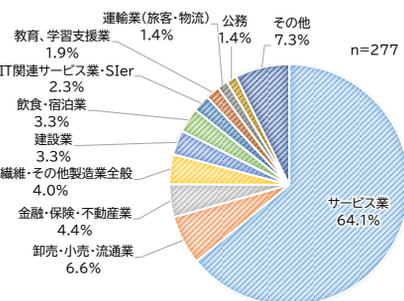
前職の業種(現 IT・通信系)



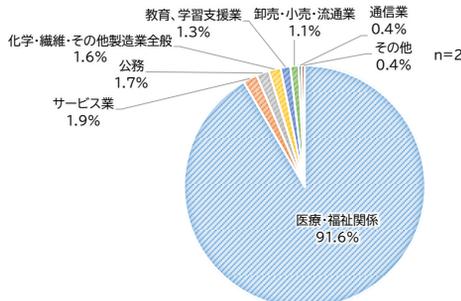
前職の業種(現 流通小売)



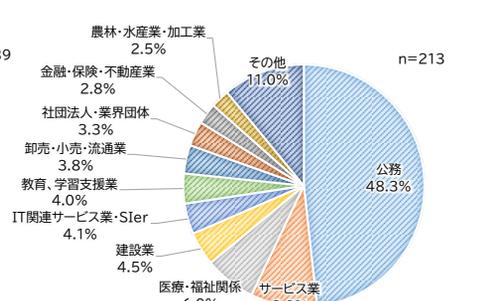
前職の業種(現 サービス)



前職の業種(現 医療)



前職の業種(現 公務)



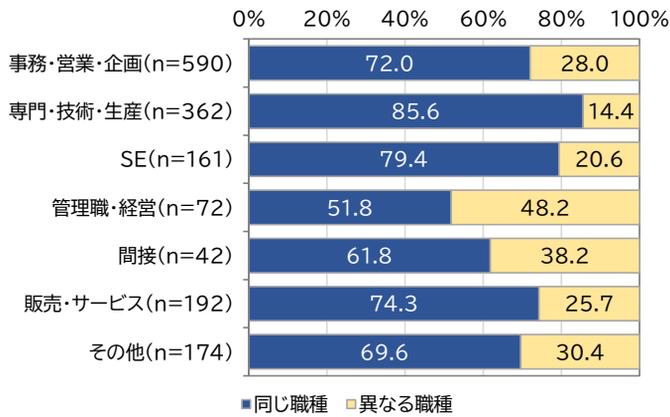
2. 転職による業種・職種の変更

転職による職種の変化

- 転職前後で職種を変えた人の割合が高いのは「管理職・経営」48.2%や「間接」38.2%となっている。
- 一方で、「専門・技術・生産」や「SE」、「販売・サービス」、「事務・営業・企画」は業種を変えない人の割合が高い。

Q1.1 お勤めの会社・団体の中での、あなたの現在の職種について、もっともあてはまるものを選択してください。(SA)【現在の職種】

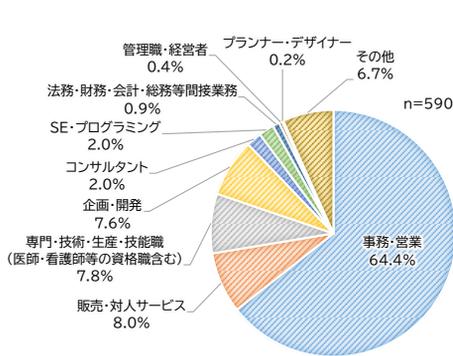
現在の職種と前職の業種の違い



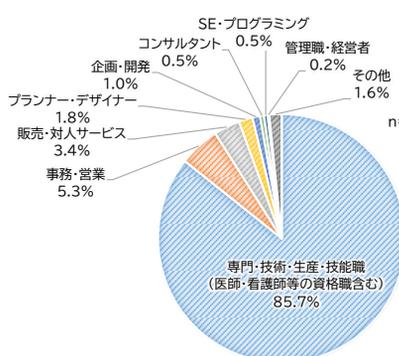
参考: 本調査での区分



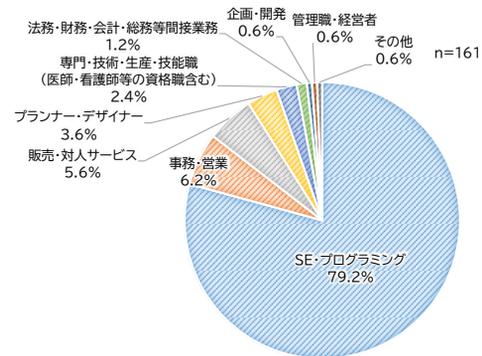
前職の職種 (現 事務・営業・企画)



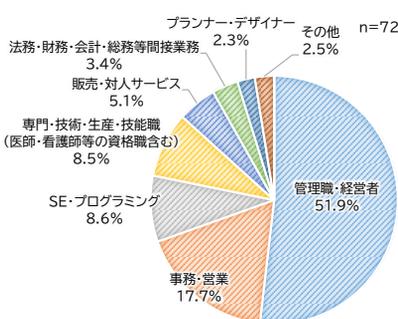
前職の職種 (現 専門・技術・生産)



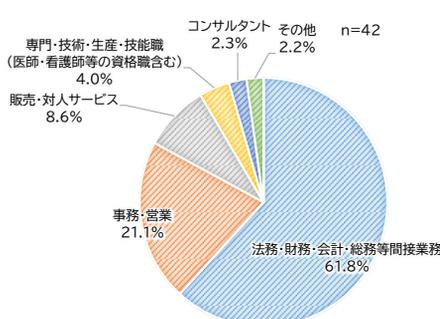
前職の職種 (現 SE)



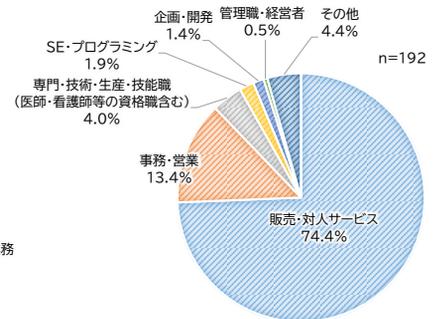
前職の職種 (現 管理職・経営)



前職の職種 (現 間接)



前職の職種 (現 販売・サービス)



※「前職の職種 (現 間接)」など、サンプルサイズが小さい箇所があるため、注意されたい。

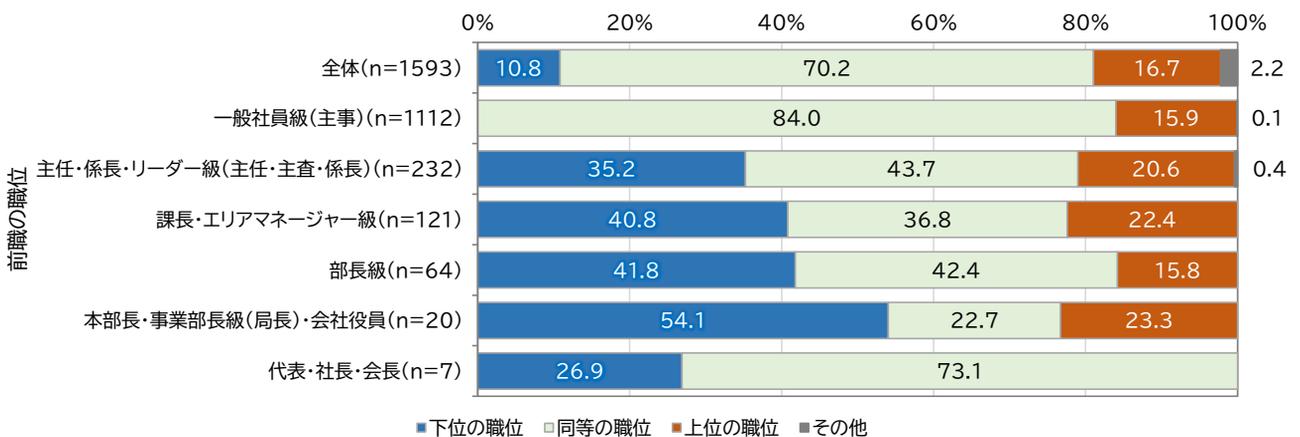
3. 転職による処遇・待遇の変化

転職による職位の変化

- 転職によって、前職の職位よりも「上位の職位」に就いた割合は16.7%、「同等の職位」が70.2%、「下位の職位」が10.8%となっている。
 - いずれの職位も、15%から20%程度が「上位の職位」となっているが、「一般社員」以外は「下位の職位」となる割合が大きくなっている。
- ※前職の職位が高い層はサンプルサイズが小さいため参考値とされたい。

Q2.1 お勤めの会社・団体の中での、あなたの職位について、もっともあてはまるものを選択してください。(SA)【現在の職位】
 Q2.2 お勤めの会社・団体の中での、あなたの職位について、もっともあてはまるものを選択してください。(SA)【前職の職位(転職を決意した時点)】

前職の職に比べた現在の職位(転職により職位が上がるか)



前職の職位別 現在の職位

前職の職位	n	現在の職位(%)									
		一般社員級(主事)	主任・係長・リーダー級(主任・主査・係長)	課長・エリアマネージャー級	部長級	本部長・事業部長級(局長)・会社役員	代表・社長・会長	顧問・相談役・監査役	社外役員	その他	
一般社員級(主事)	1112	84.0	9.7	4.2	0.8	0.4	0.8	-	-	0.1	
主任・係長・リーダー級(主任・主査・係長)	232	35.2	43.7	12.6	5.2	0.4	2.4	-	-	0.4	
課長・エリアマネージャー級	121	24.3	16.5	36.8	15.6	4.5	1.6	0.7	-	-	
部長級	64	22.5	5.9	13.4	42.4	11.8	-	4.0	-	-	
本部長・事業部長級(局長)・会社役員	20	13.0	4.5	14.1	22.5	22.7	23.3	-	-	-	
代表・社長・会長	7	-	11.9	15.0	-	-	73.1	-	-	-	
顧問・相談役・監査役	3	-	-	47.3	-	-	-	-	52.7	-	
社外役員	4	-	-	-	21.2	-	-	-	-	78.8	
その他	30	40.0	3.3	-	-	-	-	-	-	56.7	

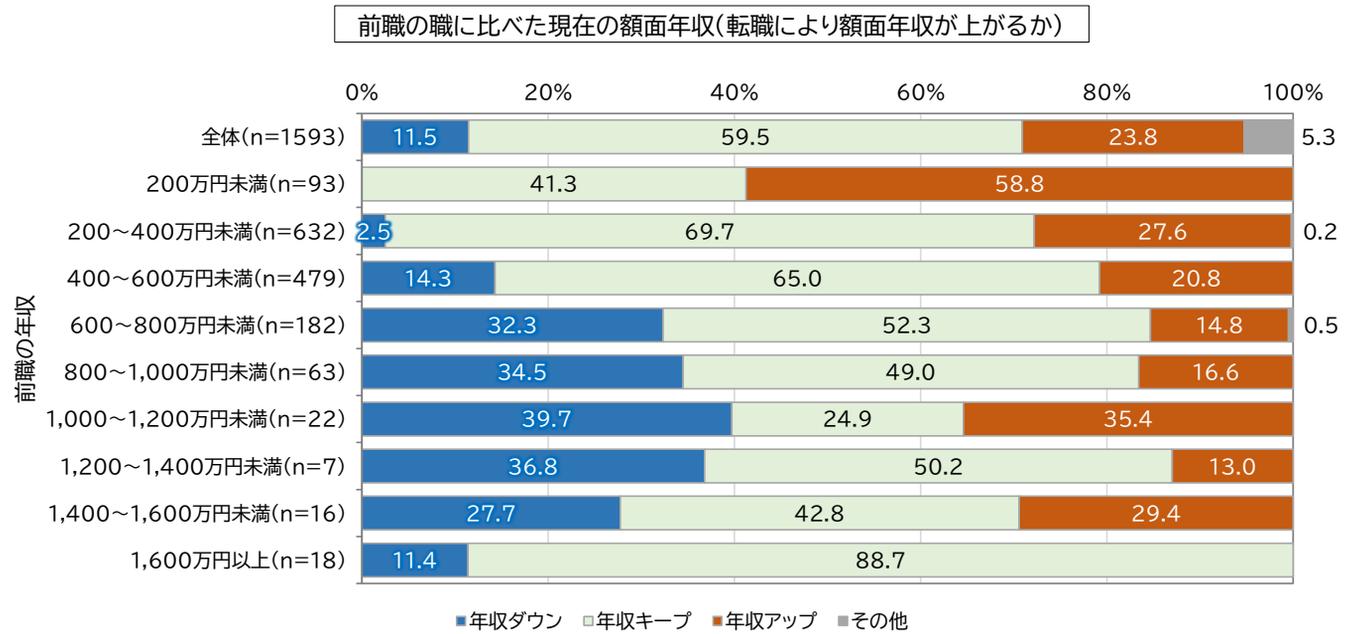
3. 転職による処遇・待遇の変化

転職による給与の変化

- 転職によって、前職の年収(額面)に比べ「年収アップ」となる割合は23.8%、「年収キープ」が59.5%、「年収ダウン」が11.5%となっている。
 - 前職の年収が「200万円～600万円未満」の場合は年収が上昇する割合が比較的高いが、「600万円以上」の場合は、年収が減少する割合が高くなっている。
- ※前職の年収が高い層はサンプルサイズが小さいため参考値とされたい。

Q4.1 お勤めの会社・団体での、あなたの年間の給与(額面)について、お答えください。(SA)【現在の額面年収】

Q4.2 お勤めの会社・団体での、あなたの年間の給与(額面)について、お答えください。(SA)【前職の額面年収(転職を決意した時点)】



前職の額面年収別 現在の額面年収

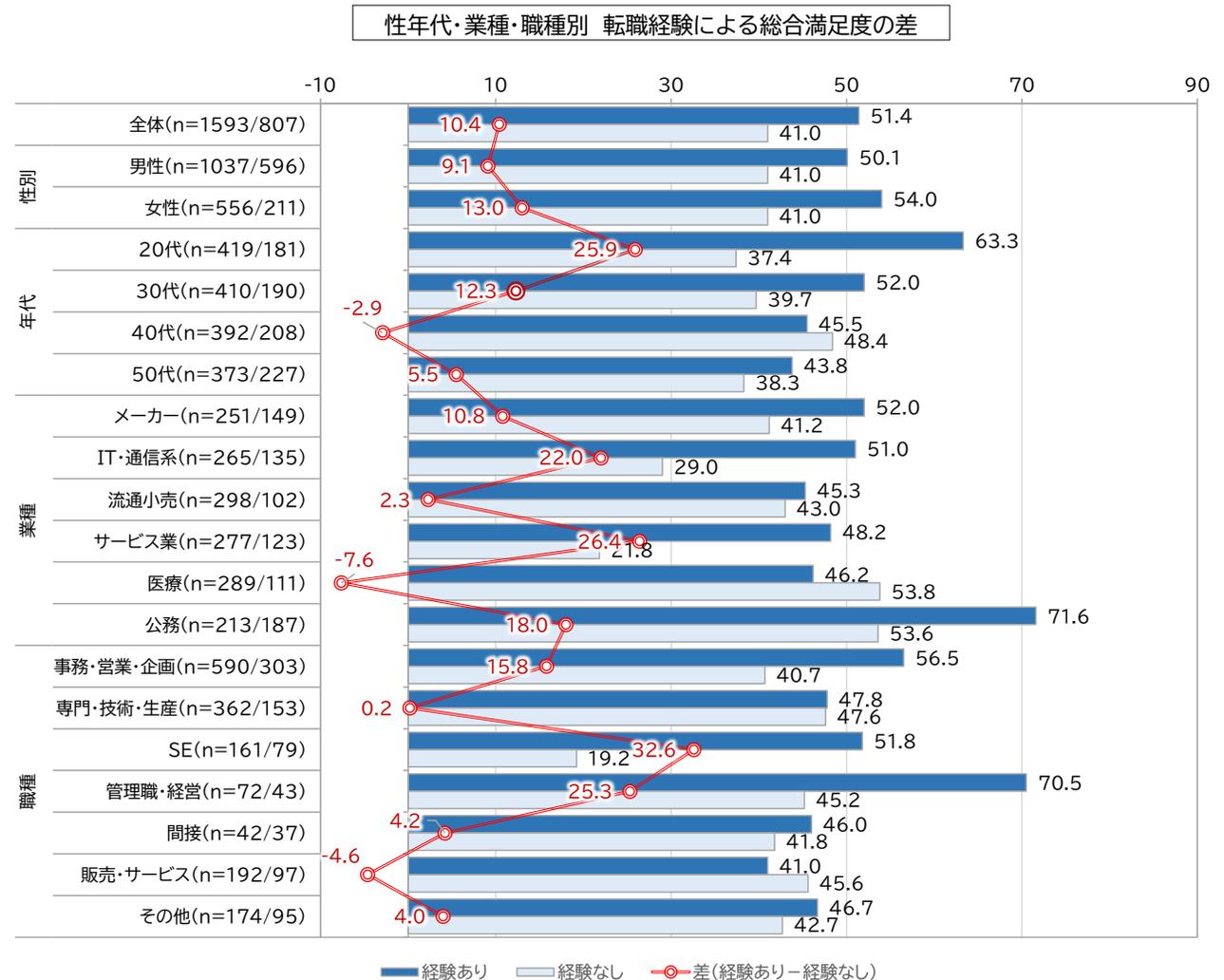
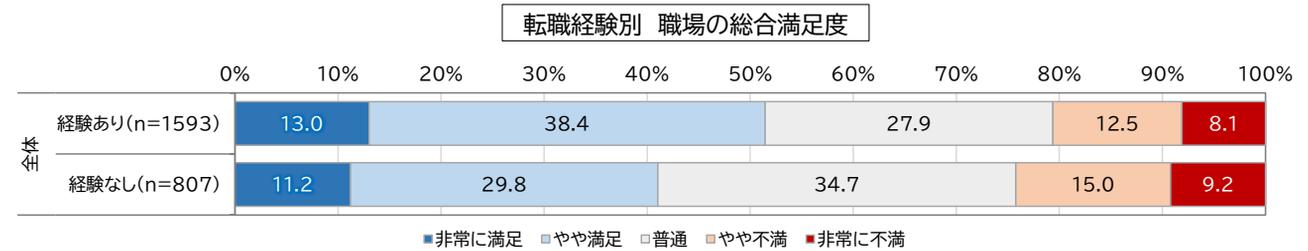
	n	現在の年収(額面) (%)										変化(万円)		
		200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000～1,200万円未満	1,200～1,400万円未満	1,400～1,600万円未満	1,600万円以上	答えたくない	現在の平均年収	増減	
前職の年収(額面)	200万円未満	93	41.3	45.3	7.9	3.8	1.8	-	-	-	-	-	300.5	100.5
	200～400万円未満	632	2.5	69.7	22.1	3.4	1.9	0.2	-	-	0.2	368.4	68.4	
	400～600万円未満	479	0.2	14.1	65.0	15.1	4.5	0.6	0.6	-	-	527.8	27.8	
	600～800万円未満	182	-	8.2	24.1	52.3	9.5	2.9	1.0	1.0	0.4	667.0	-33.0	
	800～1,000万円未満	63	-	10.7	8.2	15.6	49.0	10.9	3.0	1.4	1.3	823.2	-76.8	
	1,000～1,200万円未満	22	-	-	8.9	5.0	25.8	24.9	20.0	9.7	5.7	1,082.3	-17.7	
	1,200～1,400万円未満	7	-	-	-	12.7	11.3	12.8	50.2	13.0	-	1,179.0	-121.0	
	1,400～1,600万円未満	16	-	10.2	-	-	-	-	17.5	42.8	29.4	1,371.9	-128.1	
	1,600万円以上	18	-	-	6.9	-	-	4.5	-	-	88.7	1,501.7	-98.3	
	答えたくない	82	-	1.4	2.3	-	-	-	-	1.0	-	95.3	-	

4. 転職経験者は職場に満足しているか

転職経験有無別の職場満足度

- 転職経験の有無別に、現在の職場の総合的な満足度を比較すると、転職の「経験あり」の方が、「経験なし」に比べて高い傾向がみられた。
- 転職経験がない方が満足度が高いのは年代では「40代」、業種では「医療」、職種では「販売・サービス」となっている。

Q7 現在お勤めの会社・団体で働いていることについて、総合的に満足していますか。(SA)



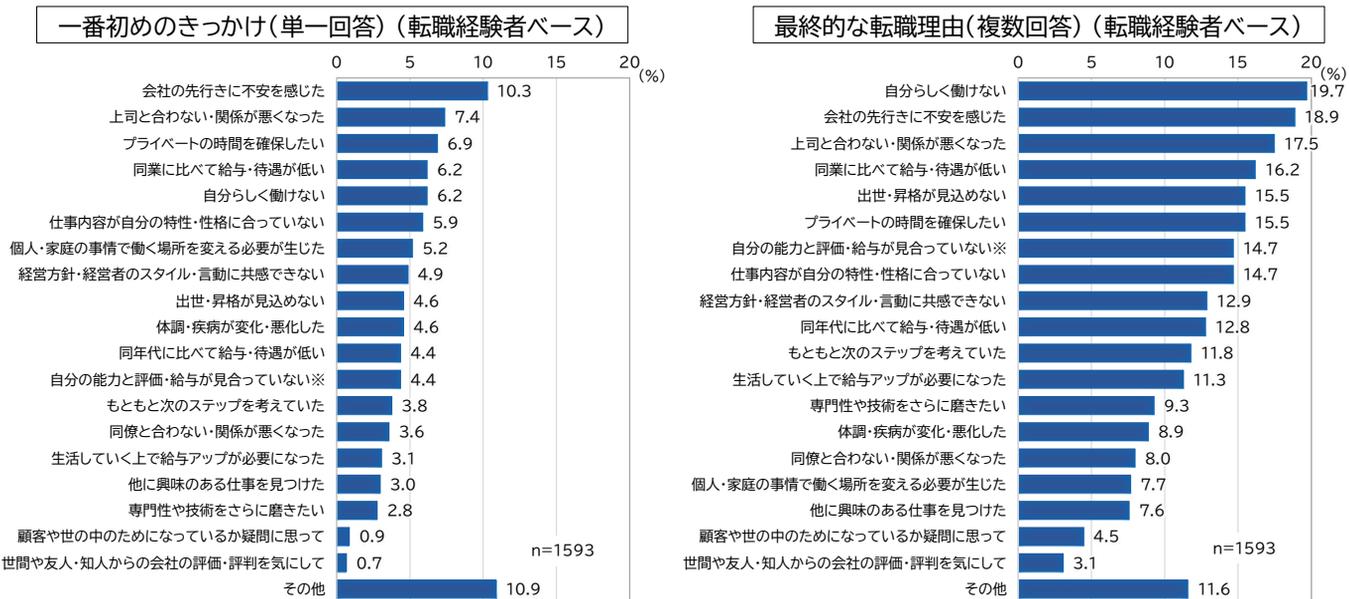
5. 転職の動機と、転職によりその原因が解消されるか

転職のきっかけ・理由

- 転職のきっかけの回答割合が高いのは「会社の先行きに不安を感じた」で10.3%、次いで「上司と合わない・関係が悪くなった」が7.4%となっている。
- 最終的な転職理由の回答割合が高いのは「自分らしく働けない」で19.7%、次いで「会社の先行きに不安を感じた」が18.9%となっている。
- 人間関係や自己実現、ワークライフバランスに関する項目がきっかけとなり、待遇やキャリアなどの理由が後押しとなり、転職を決断している様子が見えてくる。

Q26.1 【転職経験者ベース】前職から、転職を考えるようになったきっかけについて、あてはまるものをお答えください。(MA)
※直近の転職について【一番初めのきっかけ(SA)】

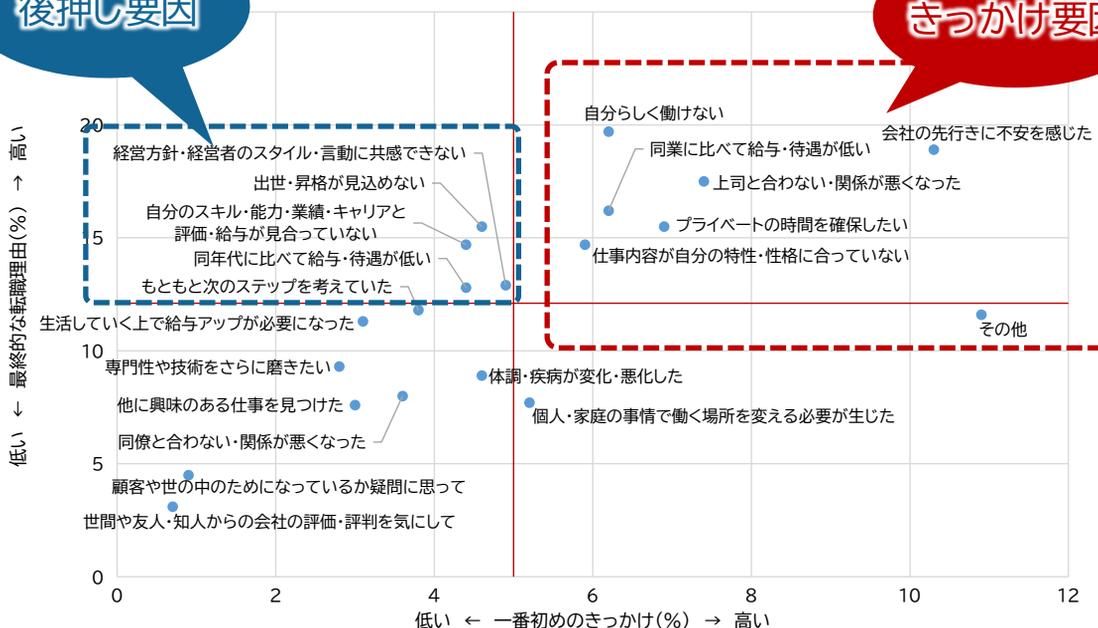
Q26.2 【転職経験者ベース】前職から、転職を考えるようになったきっかけについて、あてはまるものをお答えください。(MA)
※直近の転職について【最終的な転職理由(MA)】



後押し要因

一番初めのきっかけ×最終的な転職理由

きっかけ要因



5. 転職の動機と、転職によりその原因が解消されるか

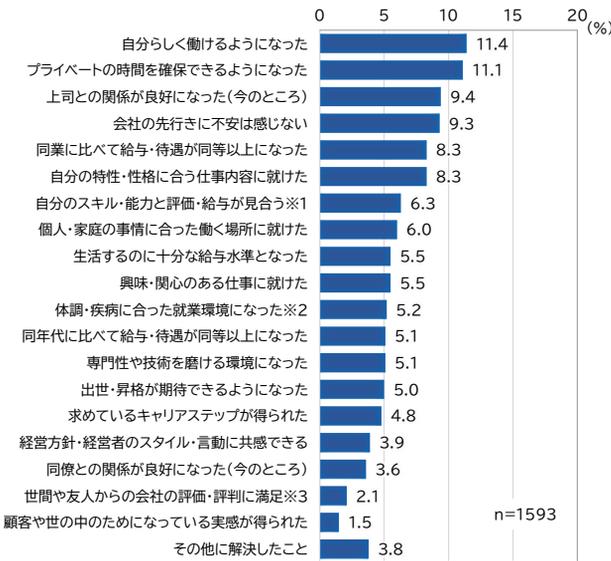
転職のきっかけが、転職により改善するか

- 転職により改善したことは「自分らしく働けるようになった」が11.4%で最も高くなっている。
- 「一番初めのきっかけ」で選択した項目が解決したかどうかについてみると、「興味・関心のある仕事に就けた」や「個人・家庭の事情に合った働く場所に就けた」などの解決率が高くなっている。
- 一方で、「出世・昇格が期待できるようになった」、「同僚との関係が良好になった(今のところ)」、「生活するのに十分な給与水準となった」などは、解決した比率が4割以下となっており、改善しない割合が高くなっている。

Q26.1 【転職経験者ベース】前職から、転職を考えるようになったきっかけについて、あてはまるものをお答えください。(MA) ※直近の転職について【一番初めのきっかけ(SA)】

Q27 転職をしたことで、転職をするきっかけとなった事柄が解決しましたか。解決したことを選択してください。(MA) ※直近の転職について

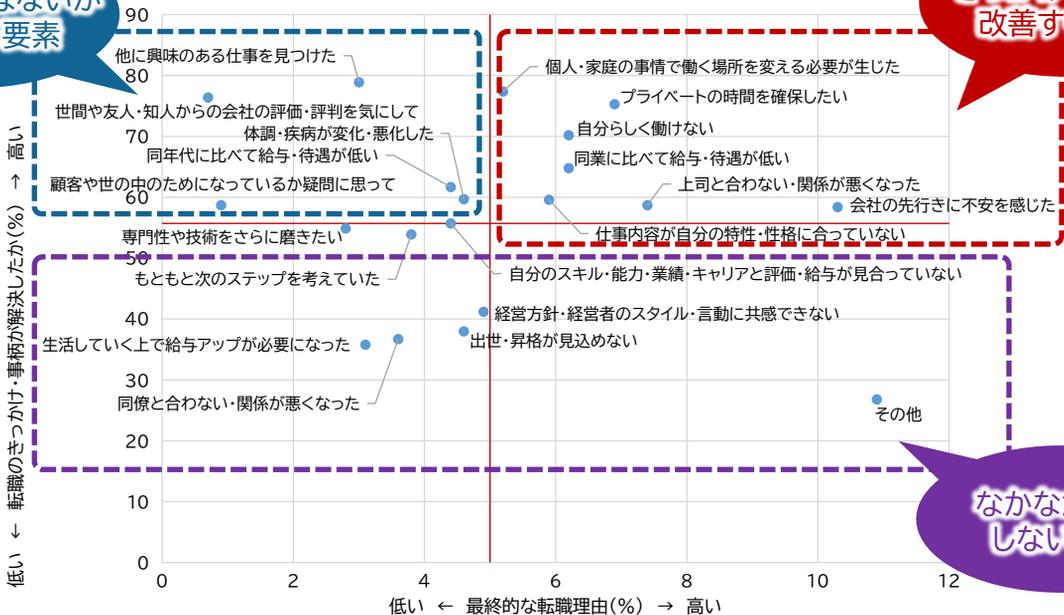
転職により改善したこと(転職経験者ベース)



一番初めのきっかけで回答した項目が改善した割合



一番初めのきっかけ×最終的な転職理由



※1 自分のスキル・能力・業績・キャリアと評価・給与が見合うようになった
 ※2 体調・疾病に合った就業環境になった・体調が改善した
 ※3 世間や友人・知人からの会社の評価・評判に満足できる

6. 転職のプロセス

転職活動のプロセス

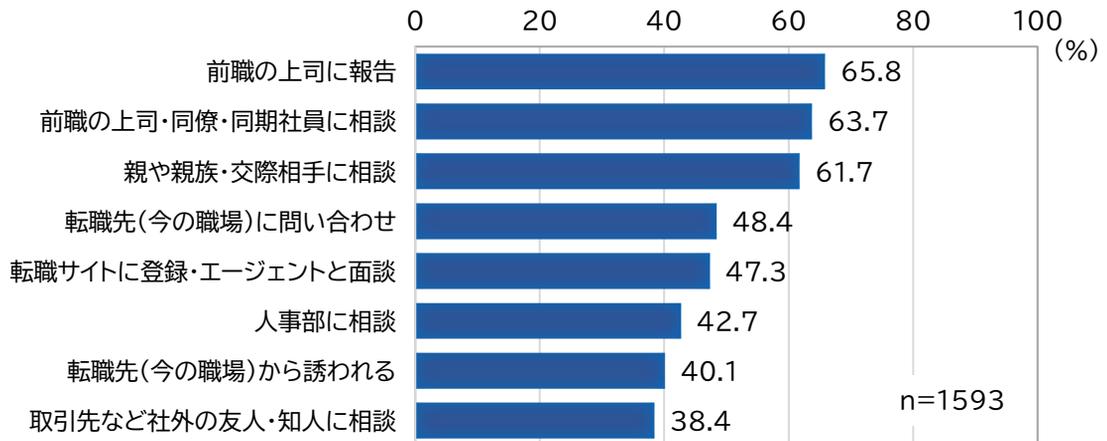
- 転職活動中に行ったアクションの回答割合が最も高かったのは「前職の上司に報告」で65.8%、「前職の上司・同僚・同期社員に相談」が63.7%等となっている。
- 実施時期についてみると、エージェントへの登録や社外の知人への相談は3ヶ月以上前、3ヶ月前頃に決意し、転職活動を本格化、2.5ヶ月前に内定し、人事、上司の順で報告・相談を行い、1.5ヶ月前に退職願を提出している。

Q28 退職願を提出するまでの行動について、それぞれの時期をお答えください。(それぞれひとつだけ)

※直近の転職についてお答えください。

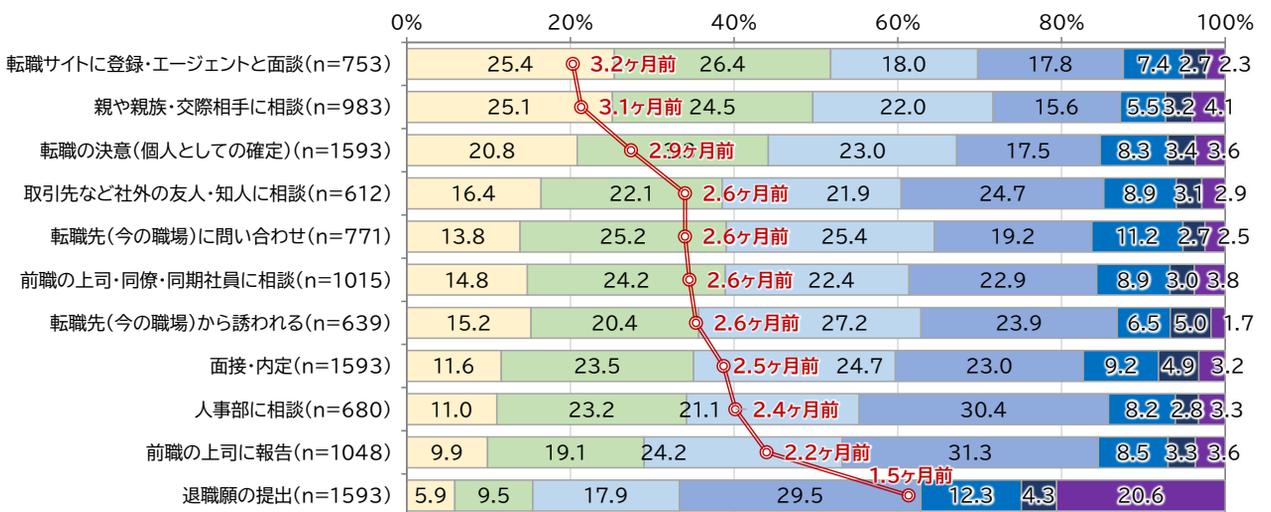
※転職の決意は、転職活動の前でも後でも構いません。自分として決心したタイミングをお答えください。

転職活動における個別アクションの実施率



※「面接・内定」、「転職の決意(個人としての確定)」、「退職願の提出」は100%のため割愛

転職活動における個別アクションの実施時期



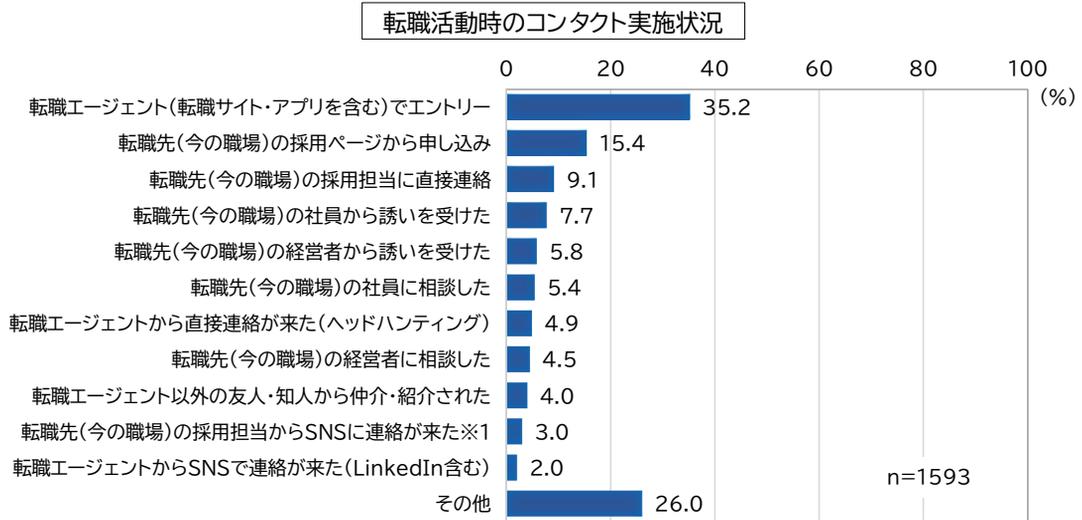
■ 退職願提出日の半年以上前
 ■ 提出日の3~5か月前
 ■ 提出日の2か月前
 ■ 提出日の1か月前
 ■ 提出日の1か月前から2週間前
 ■ 提出日の2週間前から1週間前
 ■ 提出日の前の一週間
 ○ タイミング(平均)

5. 転職のプロセス

転職活動時の外部コンタクト状況

- 転職者のうち、35.2%は転職エージェントに登録している。
- 就職先の採用ページからの申し込みは15.4%、採用担当に直接連絡は9.1%となっている。
- 「公務」は、「転職エージェント」ではなく「就職先の採用ページからの申し込み」が高くなっている。

Q29 転職を行う際、現在の転職先(今の職場)とどのようにコンタクトを取りましたか。(MA)※直近の転職について



性年代・現在の業種・職種別 転職活動時のコンタクト実施状況

	n	転職エージェント(転職サイト・アプリを含む)でエントリー	転職先(今の職場)の採用ページから申し込み	転職先(今の職場)の採用担当に直接連絡	転職先(今の職場)の社員に相談した	転職先(今の職場)の経営者に相談した	転職エージェントから直接連絡が来た(ヘッドハンティング)	転職エージェントからSNSで連絡が来た(LiNKedIn含む)	転職エージェント以外の友人・知人から仲介・紹介された	転職先(今の職場)の社員から誘いを受けた	転職先(今の職場)の経営者から誘いを受けた	転職先(今の職場)の採用担当からSNSに連絡が来た(LiNKedIn, Wantedly含む)	その他
全体	1593	35.2	15.4	9.1	5.4	4.5	4.9	2.0	4.0	7.7	5.8	3.0	26.0
性別													
男性	1037	34.9	16.0	9.5	6.8	5.7	5.9	2.9	4.2	7.7	6.6	2.6	26.1
女性	556	35.8	14.4	8.5	2.7	2.2	3.0	0.3	3.6	7.7	4.3	3.8	25.6
年代													
20代	419	50.4	15.3	7.6	4.7	3.0	5.6	4.2	4.2	6.8	3.4	4.8	16.3
30代	410	40.7	21.2	10.3	7.0	5.3	5.2	2.1	3.6	6.9	4.4	4.0	18.1
40代	392	27.8	15.1	8.7	5.1	3.0	4.4	1.0	3.9	9.6	8.4	2.2	33.0
50代	373	20.0	9.5	9.9	4.6	6.8	4.3	0.4	4.4	7.8	7.2	0.7	38.1
業種													
メーカー	251	44.4	12.6	11.7	6.8	3.3	7.1	1.4	4.4	7.5	5.0	4.0	21.4
IT・通信系	265	54.3	11.1	8.8	7.0	4.7	7.1	0.7	3.6	7.5	4.4	2.0	15.9
流通小売	298	37.3	9.6	5.6	4.4	4.1	5.1	2.4	5.9	8.6	8.8	4.6	25.3
サービス業	277	35.8	18.2	6.6	6.5	5.5	2.8	3.9	2.6	6.8	4.2	1.8	29.4
医療	289	22.5	11.0	12.4	3.6	3.4	2.7	0.8	6.3	8.6	9.3	3.2	31.1
公務	213	14.1	34.6	10.2	4.0	6.4	4.8	3.1	-	6.9	1.3	2.4	33.5
職種													
事務・営業・企画	590	37.4	17.2	8.8	5.8	5.2	5.9	3.4	4.8	9.2	6.4	3.7	23.7
専門・技術・生産	362	27.3	14.6	15.3	3.8	2.4	3.8	0.3	3.0	5.3	7.3	3.3	27.4
SE	161	56.1	11.7	6.4	4.5	6.8	6.9	0.7	1.2	7.4	5.8	2.9	15.0
管理職・経営	72	32.8	14.9	9.7	12.7	11.7	8.5	3.9	5.6	3.9	7.9	5.2	30.2
間接	42	46.3	20.0	4.7	6.5	8.9	4.5	-	2.6	6.7	2.4	-	11.6
販売・サービス	192	35.9	15.4	4.9	5.3	1.8	0.8	1.8	4.1	8.7	3.5	1.4	26.9
その他	174	22.4	13.6	5.5	4.5	3.1	4.8	2.0	5.5	8.7	2.9	2.0	41.5

※1 転職先(今の職場)の採用担当からSNSに連絡が来た(LiNKedIn, Wantedly含む)

■ サベイリサーチセンター 会社概要

● 会社名	株式会社サベイリサーチセンター
● 所在地	東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号
● 設立	1975(昭和50)年2月
● 資本金	6,000万円
● 年商	106億円(2022年度)
● 代表者	代表取締役 藤澤 士朗、長尾 健、石川 俊之
● 社員数	社員:317名 契約スタッフ:484名(2023年3月1日現在)
● 事業所	東京(本社)、札幌、盛岡、仙台、北陸、静岡、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、福岡、熊本、那覇
● 主要事業	世論調査・行政計画策定支援、都市・交通計画調査、マーケティング・リサーチ
● 所属団体	公益財団法人 日本世論調査協会 一般社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会(JMRA) 日本災害情報学会 一般社団法人 交通工学研究会 他
● その他	ISO9001認証取得(2000年6月) プライバシーマーク付与認定(2000年12月) ISO20252認証取得(2010年10月) ISO27001認証取得(2015年11月)※ ※認証区分及び認証範囲: ・MR部及びGMR部が実施するインターネットリサーチサービスの企画及び提供 ・全国ネットワーク部及び沖縄事務所が実施する世論・市場調査サービスの企画及び提供

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社サベイリサーチセンター <https://www.surece.co.jp/>

- 広報担当:品質部 松下 正人 E-mail:src_support@surece.co.jp
TEL:03-3802-6779 FAX:03-3802-6729
- 調査担当:営業企画本部 柘植 航大 E-mail:tsuge_ko@surece.co.jp
TEL:03-3802-6727 FAX:03-3802-7321
- 調査結果の引用にあたっては、調査主体名として「株式会社サベイリサーチセンター(東京都)」を必ず明記して利用してください。
- 調査結果の無断転載・複製を禁じます。
- 本紙に記載している情報は、発表日時点のものです。